



子ども大学かわごえ

# CUK だより

第7号 NO.1002

2010年2月12日

**世のなかには想像する天才があるように、探す天才もあり、  
書く天才があるように、読む天才もある  
ヴァレリー**

しばらく寒い日が続きますが、みなさん風邪も引かずに元気に乗り越えましょう！

## ふるさと学「喜多院と川越」

1月23日（土）一時間目の授業は川越大師・喜多院 塩入秀知住職のお話でした。生まれた所、育った所、ふるさとに興味をもってもらいたいという「ふるさと学」です。前の日の22日に喜多院で消防訓練が行われ、その様子が朝のニュースで放送されたそうです。国の宝、文化財を守るために毎年訓練が行われているということです。

お正月のお話です。初詣やおせち、お供えもちなど古い習慣の中で気になるお年玉についてです。本来は、お年玉の「玉」は「たましい」であり、生きる力を神様からいただくものなのだそうです。生きる力、つまり太陽、大地、作った人のエネルギーを形に表したのがおもちです。その1年間を伝えるのがお正月だから、「お年玉は無駄遣いせずに元気になるものを買おう！」と住職は言われました。



まず、仏様とはインドの人で、神様からもらった大切な命をどうやって使っていくかを考えたのがお釈迦様というご説明があり、喜多院のお話になりました。喜多院がある「小仙波」の名前の由来です。昔、仙人が喜多院の近くにやってきましたが、そのころは川越にも海がありました。（市内には貝塚がたくさんあります）。仙人は、ここにお寺を建てたいので衣の分だけ土地がほしいと近づいてきた人に頼みました。衣を脱いで投げると衣は大きく広がり一帯が地面になりました。実は近づいてきた人は龍だったのです。地面になって住むところがなくなってしまった龍に仙人が与えた住処が「龍池弁財天」だそうです。それで小仙波というのは「仙人がやって来た、海があった場所」という意味なのです。

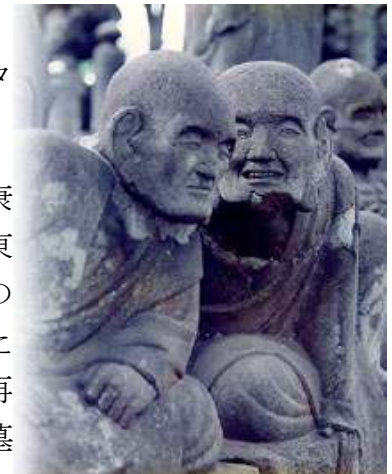
喜多院は今から 1200 年前に建てられましたが、何度も大火にあい詳しい記録は残っていません。



800 年前の平安時代に建てなおされ、今もある中院のほか、南の院というお寺もありました。喜多院は江戸の初めに天海僧正がご住職になりました。天海僧正は徳川家康を尊敬していて、家康も僧正を気に入っていたので、何度も川越にやって来ました。川越大火のとき喜多院はほとんど焼けてしまいましたが、3 代目の家光により建て直され、その時江戸城の建物の一部が喜多院に移されました。江戸城から

川越に建物の材木を運ぶために舟を使い、これが舟運（しゅううん：舟によって交通したり物を輸送したりすること）につながり、江戸の文化がもたらされて、川越は「小江戸」と呼ばれるようになりました。

ここで、喜多院のスライドが紹介されました。境内、本堂、家光の誕生の間、春日局化粧の間、馬のおもちゃや移動式のダンス、江戸城の庭を真似てつくられたお庭、五百羅漢などなど。



そして、川越と日光のつながりについてです。日光には家康公をまつている日光東照宮があります。喜多院の境内にも東照宮がありますが、これは家康が亡くなった静岡から、お墓のある栃木に運ばれるときに川越に立ち寄ったため造られました。日光東照宮には家康公のお墓があり、その近くには喜多院を再建した家光公、そして二人の将軍と仲がよかった天海僧正の墓が二人の墓の真ん中にあります。

最後に住職より宿題がでました。「日光東照宮に行ったら、有名な「ねむり猫」の裏にある彫刻を見てみてください。そして、なぜそこにその彫刻があるのか調べてみてください」もちろん喜多院にもぜひ行ってみてください。新しい発見があるかもしれませんよ。

## ふるさと学「川越氷川祭り（川越まつり）と川越」



2 時間目は、氷川神社 山田禎久宮司の授業です。まず、山田宮司は神主さんの制服、狩衣（かりぎぬ）を着てみんなに見せてくれました。お手伝いをするのは、巫女（みこ）さんの吉永さんです。烏帽子（えぼし）という帽子をかぶり、覚えを書いた勺（しゃく）を体の中心で持ちます。そして本当は「あさぐつ」という木の靴もはくそうです。なんだか「おじゃる丸」みたいな恰好でした。



川越まつりのお話に入りました。川越まつりの正式名は「川越氷川祭り」です。360年前に始まりました。お祭りの様子を描いた長さ 18 メートルの絵巻が川越博物館に保管されています。絵巻は、天狗が道案内となり、次に獅子頭、馬に乗った神主さんの順で神輿（みこし）二基が最後についていくというように、神社からお城へ向かう行列が描かれています。これが本来の川越氷川祭りの姿です。現在の川越まつりの山車は氷川祭りとは別の流れで、30 台近くの半数くらいが毎年交替で祭りに参加しています。

次いで、日本の神様のお話に移りました。日本の神様は自然の中において、山や川、海の恵みが神様だと思われてきました。反面、日照りや洪水、台風、雷、地震など自然は大変こわいもので、人の力を超えた大きな存在が神様とも考えていました。日本人は自然を尊び自然と共に生きてきました。日本人の名前は佐藤、鈴木、田中、中村、小林など、植物や動物、天文学や季節など、自然に関係するものが多くなっています。苗字は自然（神様）そのものです。

神社は神様の住んでいるところです。昔は大きな岩や樹木を神様と呼びお祭りをしていました。神社では川越の町全体が、そして日本の国が、世の中が、いつまでも元気で平和であるようにと祈ります。お祭りは秋米などの豊作に感謝し、神様を招いてお礼を伝えるためのものです。

日本人の苗字ベスト10

1位	佐藤
2位	鈴木
3位	高橋
4位	田中
5位	渡辺
6位	伊藤
7位	山本
8位	中村
9位	小林
10位	加藤

慶安元年（1648）川越城主松平信綱が氷川神社に祭礼用具を納めたことから始まった長い歴史のある川越まつりは、先祖が一生懸命に継いできてくれました。素晴らしいことです。私たちも子ども達にそのまた子ども達にとつないでいきましょう。そしていつの世代までも川越まつりを楽しめるよう、未来に繋いでいきましょう、と呼び掛けられました。

神社って何だろう？

- 神様のいるところ
- 昔は建物ではなく、大きな岩や大きな木に神様を呼んでお祭りをした
- 大昔から日本にある
- 一人ではなくみんなの願いをお願いするところ(家族・まち・チーム・国・農業)

まつりって何だろう？

- ・かみさまに感謝して 地域のはんえいを祈ること
- ・まずは「感謝(お礼)」
- ・そして「お祈り(お願い)」

## 連絡事項

1. 2月20日(土) 授業 東京国際大学 第1キャンパス 2号館3階 232教室  
 講師 東洋大学理工学部 吉野隆 准教授



テーマ 「なぜハチの巣は6角形なのか？－つめ方のすうがく－」

テーマの名称が変わりました。この講義では「ケプラー予想」と呼ばれている400年間答えがわからなかった問題をわかりやすく紹介します。なぜハチの巣や鉛筆は6角形？なぜキリンの体の模様やカメの甲に6角形が多い？さらに、レオナルド・ダ・ヴィンチの黄金比とは何？ニュートンの13球問題などの課題に実験を通して迫ります。次のものを持ってきてください。

①はさみ ②定規（ものさし） ③1円玉20個 ④のり（テープのり）

それから、保護者の中から12～13人アシスタントを募集します。学生たちが手作業をするのでお手伝いが必要です。お手伝いいただける方は、受付でお申出てください。

## 2. 学園祭“こどもがつくるまち「ミニかわごえ」”

この学園祭は川越市民（&鶴ヶ島や周辺地域の市民）の注目を浴びているので立派な学園祭にしたいと考えています。事前にジュニアスタッフ、大人サポーターとしてまちづくりに協力していただく方々はもちろん、2日の会期中には子ども大学かわごえの学生と保護者全員の参加をお願いします。

なお、「ミニかわごえ」は雨天決行です。

## 3. 21年度終業式

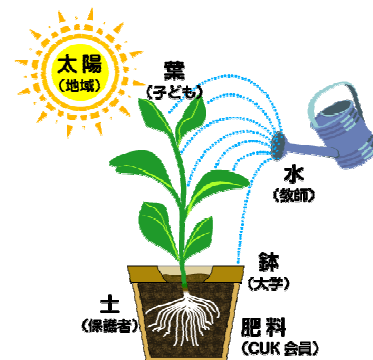
終業式を「ミニかわごえ」最終日の3月14日（日）午後4時30分から5時まで「ミニかわごえ」の会場である蓮馨寺の「おとなのまち」（入口を入れて右側の内庭）で実施しますので、全員の参加をお願いします。学生諸君は校歌の歌詞を暗唱してきてください。

## 4. 子ども大学かわごえの活動体制

私たちの紹介誌『こうして創った子ども大学かわごえ』を読まれた方はご理解いただいていると思いますが、子ども大学かわごえの活動はNPO法人子ども大学かわごえというボランティア団体を中心になって運営をしています。

講師先生方との折衝、教室の手配を含む授業の運営、学生募集のための関係先との折衝、印刷出版物の制作、広報活動等々の作業は会員が週末や勤務時間外の自由時間を使いながら行っています。このように限られた時間内の限られた人員で限られた資金で活動しているので、私たちは学校や会社のような行き届いたサービスはできません。この足りないところは、学生諸君や保護者のみなさまのご協力で補っていきたく願っています。

ホームルームは学生&保護者と会員とのコミュニケーションの場です。15分間という限られた時間内に取り上げられるテーマは多くありませんが、有効に活用して子ども大学かわごえの発展につなげたいと考えます。3月までは「ミニかわごえ」のために大分時間がとられるかもしれませんが、新年度からは実質的な交流の場としたいと考えますので、ホームルームの活用につき学生&保護者のご提案をお待ちします。



子ども大学かわごえ (CUK) は  
みんなで子どもを育てるしくみです。

子ども大学かわごえ事務局

## 子ども大学かわごえ

学長 遠藤 克弥

後援 川越市教育委員会  
鶴ヶ島市教育委員会  
川越商工会議所

助成 (財)カメイ社会教育振興財団 (仙台市)



事務局 NPO法人子ども大学かわごえ  
〒350-1109 川越市霞ヶ関北 3-12-6  
霞ヶ関北自治会館内  
H-P <http://www.cuk.or.jp>  
TEL 080-2053-2991 (事務局直通)  
FAX 049-233-1640

